

進行管理・実施状況評価の考え方

(1) 目的

本町においては、男女共同参画社会基本法に基づく市町村男女共同参画計画として、平成28年3月に「第4次さむかわ男女共同参画プラン」を制定した。

また、本計画は、寒川町総合計画「さむかわ2020プラン」に基づく分野別の基本計画の一つでもある。

第4次計画は、平成28年度から平成32年度を計画期間とする本町のあらゆる分野にわたる計画であり、その推進に当たっては、全庁的な取り組みを必要とする。

各事業にわたる計画の進捗状況を確実に把握し、その評価を行うことにより、計画の実効性を確保し、男女共同参画社会の実現に向けた諸施策を推進する。

(2) 評価の対象及び方法等

【評価の対象】

①事業実施担当課が実施する各事業の評価

各事業ごとに、事業実施担当課が自己評価を行い、協働文化推進課において、その実施状況を取りまとめ、さむかわ男女共同参画プラン推進協議会（以下「推進協議会」という。）に報告し、意見を伺う。

②基本目標の評価

第4次さむかわ男女共同参画プランで定める4つの基本目標の評価は、各事業の評価内容を踏まえ、推進協議会において実施する。

推進協議会では、各基本目標が計画期間の中でどの程度進んでいるのか、遅れている部分についてはどのようにして進めるべきかなどについて、総合的な広い観点から評価するものとする。

なお、この基本目標の評価結果は次期計画の策定に関し重要な参考資料とする。

【評価の方法】

1. 進行管理表（別紙）により、各事業ごとに、事業実施担当課が自己評価を行い、さむかわ男女共同参画プラン連絡会（以下「連絡会」という。）に報告し、推進協議会へ最終報告を行う。

2. 事業の実施状況及びその評価内容について、町民に公表する。

【各事業の評価基準】

事業実施担当課が、目標の「達成度」、「今後の方向性」について自己評価を行う。判定区分は下記のとおり。

【目標の達成度】

- A：目標達成
- B：概ね目標達成
- C：目標に向け事業が遅れている
- D：目標に向け事業がほとんど進んでいない

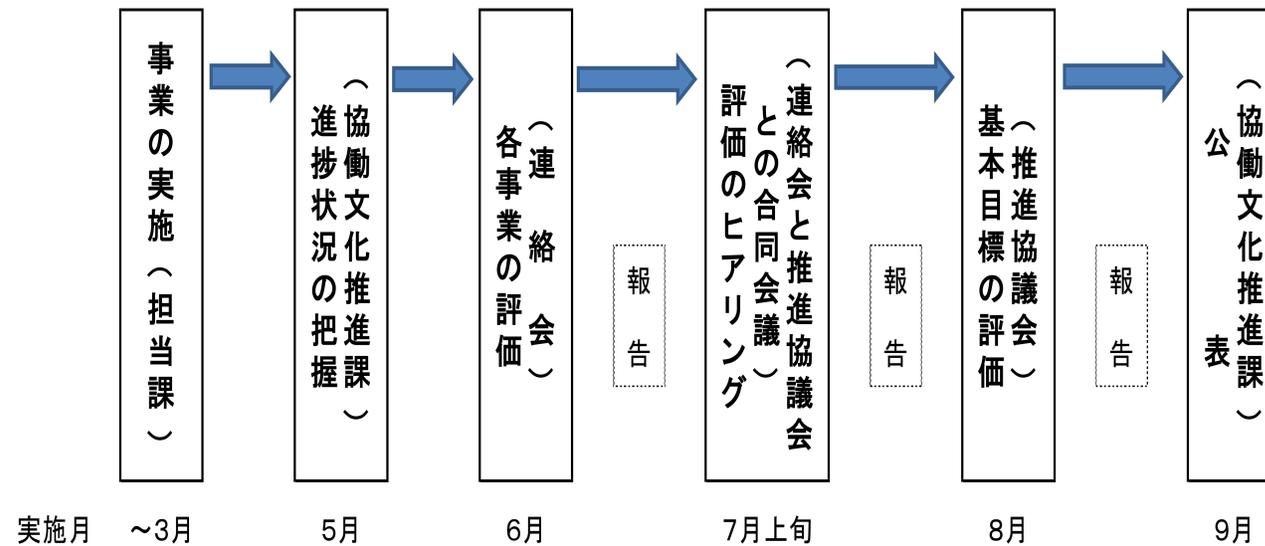
【今後の方向性】

- 1. 更に充実強化していく
- 2. 計画どおり取り組む
- 3. 一部見直しが必要
- 4. 事業の休止または廃止

→【目標の達成度】についての考え方

- A: 目標値に達している
- B: 目標値に対し80%以上の実績値
- C: 目標値に対し80%未満の実績値
- D: 目標値に対し取り組むことができなかった

進行管理・評価の流れ



〈基本目標Ⅰ あらゆる分野での男女共同参画の推進〉

施策の基本的方向 1. 政策や方針決定過程などへの女性の参画の促進

施策の内容(1) 事業所等への女性登用の促進

事業番号	事業名		28年度	29年度	年度	年度	年度	現状と課題	評価 今後の方向性	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値					
			実績	実績	実績	実績	実績					
1	管理職への女性登用の推進		18	18				女性職員の比率が低い年代であることから実績が低下している。	C	目標値到達には至らなかったため。	総務課	
	事業所としての町の取り組みとして、能力や意欲のある女性の管理職への登用を推進します。	管理職の職員数における女性の割合(%)	7									
2	勤労者実態調査の実施			50				次回平成29年度実施予定		3年ごとに実施している調査であり、平成28年度は未実施。次回は平成29年度に実施予定。	産業振興課	
	町内事業所に勤務する労働者の実態を明らかにし、労働行政の基礎資料とすることを目的に3年毎に実施します。その結果を事業所に知らせることにより、女性登用の向上を図ります。	調査票の回収率(%)										

施策の内容（２）町審議会などへの女性委員の登用

事業番号	事業名		28年度	29年度	年度	年度	年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
			実績	実績	実績	実績	実績					
3	女性委員登用の推進		22	24	/	/	/	<p>地方自治法(第202条の3)に基づく審議会等の女性の登用状況 該当する審議会等数 25 総委員数 276人 うち女性委員数 54人 女性委員比率 19.6%</p> <p>公募委員の選考にあたっては、男女比に配慮して女性委員の登用を進めているが、委員の選出を団体や組織に依頼するケースが多く、その団体や組織の特性から女性が少ないといった個別の状況もある。また、職を指定している場合に、その職に女性が就いていないことも多い。 今後は、選出方法の工夫・選出団体への女性登用の意識づけに取り組む必要がある。</p>	B	<p>前年度(H27年度18.7%)より登用率が若干増加したが目標値には及ばなかった。各種審議会等を所管する担当課に対し委員の改選時には女性委員登用の推進について配慮いただくよう依頼した。</p>	協働文化推進課	
	町審議会などの職指定委員の見直しを図り、女性委員の登用をより一層推進します。	町審議会の女性委員登用率(%)							20			

施策の内容（3）住民活動などにおける女性の参画の促進

事業番号	事業名		28年度	29年度	年度	年度	年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値					
			実績	実績	実績	実績	実績					
4	女性の活躍のための講座の開催		30	30 50				<p>男女共同参画推進の講座として、神奈川県、藤沢市及び茅ヶ崎市と連携した講座を開催した。</p> <p>①男女共同参画推進市町村連携講座 「男女がともに輝く未来へ～みんなで考えよう協働のまちづくり～」 日時：平成29年1月22日（日） 場所：寒川町民センター展示室1 参加者：35人（男性22人、女性13人） 講師：萩原なつ子さん（立教大学社会学部/大学院21世紀デザイン研究科教授） 内容：地域における男女共同参画について理解を深め、協働で地域の課題を解決するためには女性の能力活用、参画促進が重要でそのためには男女とも意識改革が必要不可欠であることを学ぶことを目的に実施。5人×7組のグループ分けを行い、冒頭に9マス自己紹介を行い、男女共同参画基本法が市町村の計画のベースになっていることや、新しい協働、歴史的背景など替え歌を交え、わかりやすく講演いただいた。後半は、ワールドカフェ方式でテーマ「寒川町でみんながいきいき暮らしていくにはどうしたらいいか」についてアイデアを出し合い、グループごとに発表をした。</p> <p>②2市1町（藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町）広域連携事業男女共同参画特別講演会 「介護は突然やってくる」 日時：平成28年10月15日（土） 場所：藤沢NDビル6階6-1会議室（藤沢市） 参加者：79人（男性35人、女性44人） 講師：太田 差恵子さん（介護・暮らしジャーナリスト） 内容：講師の20年以上の取材活動やNPO法人での経験からもしも親が「突然」倒れたら介護と自分の仕事をどのように両立していけばよいかについて、具体的な実践的な手法をお話いただいた。</p> <p>③平成28年度防災講演会 「あなたは時どう動く～母として、嫁として、職員として～」 日時：平成29年3月12日（日） 場所：寒川総合体育館多目的室 参加者：125人 講師：澤田裕美子さん（福島県大熊町健康介護課保健衛生係長） 武内一恵さん（福島県大熊町健康介護係長） 内容：東日本大震災発生に職員としてそれぞれの立場で災害対応に取り組まれた当時の経験と教訓など女性の視点でお話いただいた。</p> <p>町以外で開催される講座の情報提供 3件（2市1町広域連携事業）</p> <p>女性リーダーの育成や、地域活動等への参画に結び付くよう、内容、講師、開催日、時間帯などを検討し、一人でも多くの人が参加を希望する講座を開催する必要がある。</p>	A	<p>①男性の参加者数が女性を上回り、参加者数についても目標値を上回った。ワールドカフェ方式のグループワークでは、性別や年代の垣根を越えた話し合いができたことで満足度の高い講座となった。</p> <p>②参加者も40-50代の有業者の男女が多く、ワークライフ・バランスを進めていくコツを得る機会を提供できた。</p> <p>③災害対応の経験を女性から直接お聞きすることができ、女性の視点を活かした対策や心構えなど防災意識の向上につながった。</p>	協働文化推進課	
	女性の活躍促進のための講座を開催し、女性リーダーの育成や住民活動等への参画を促進します。また、町以外で開催される講座等について情報提供します。	講座の参加人数（人）	239				2					

施策の基本的方向 2. 女性の活躍のための支援
 施策の内容(1) 女性の人材育成の充実

事業番号	事業名		28年度	29年度	年度	年度	年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
5	女性の活躍のための講座の開催(再掲)		30	30 50				男女共同参画推進の講座として、神奈川県、藤沢市及び茅ヶ崎市と連携した講座を開催した。		<p>①男性の参加者数が女性を上回り、参加者数についても目標値を上回った。ワールドカフェ方式のグループワークでは、性別や年代の垣根を越えた話し合いができたことで満足度の高い講座となった。</p> <p>②参加者も40-50代の有業者の男女が多く、ワークライフ・バランスを進めていくコツを得る機会を提供できた。</p> <p>③災害対応の経験を女性から直接お聞きすることができ、女性の視点を活かした対策や心構えなど防災意識の向上につながった。</p>	協働文化推進課	
	女性の活躍促進のための講座を開催し、女性リーダーの育成や住民活動等への参画を促進します。また、町以外で開催される講座等について情報提供します。	講座の参加人数(人)	239				<p>①男女共同参画推進市町村連携講座 「男女がともに輝く未来へ～みんなで考えよう協働のまちづくり～」 日時:平成29年1月22日(日) 場所:寒川町民センター展示室1 参加者:35人(男性22人、女性13人) 講師:萩原なつ子さん(立教大学社会学部/大学院21世紀デザイン研究科教授) 内容:地域における男女共同参画について理解を深め、協働で地域の課題を解決するためには女性の能力活用、参画促進が重要でそのためには男女とも意識改革が必要不可欠であることを学ぶことを目的に実施。5人×7組のグループ分けを行い、冒頭に9マス自己紹介を行い、男女共同参画基本法が市町村の計画のベースになっていることや、新しい協働、歴史的背景など替え歌を交え、わかりやすくご講演いただいた。後半は、ワールドカフェ方式でテーマ「寒川町でみんながいきいき暮らしていくにはどうしたらいいか」についてアイデアを出し合い、グループごとに発表をした。</p> <p>②2市1町(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)広域連携事業男女共同参画特別講演会 「介護は突然やってくる」 日時:平成28年10月15日(土) 場所:湘南NDビル6階6-1会議室(藤沢市) 参加者:79人(男性35人、女性44人) 講師:太田 差恵子さん(介護・暮らしジャーナリスト) 内容:講師の20年以上の取材活動やNPO法人での経験からもしも親が「突然」倒れたら介護と自分の仕事をどのように両立していけばよいかについて、具体的な実践的な手法をお話いただいた。</p> <p>③平成28年度防災講演会 「あなたは時どう動く～母として、嫁として、職員として～」 日時:平成29年3月12日(日) 場所:寒川総合体育館多目的室 参加者:125人 講師:澤田裕美子さん(福島県大熊町健康介護課保健衛生係長) 武内一恵さん(福島県大熊町健康介護係長) 内容:東日本大震災発生に職員としてそれぞれの立場で災害対応に取り組まれた当時の経験と教訓など女性の視点でお話いただいた。</p> <p>町以外で開催される講座の情報提供 3件(2市1町広域連携事業)</p> <p>女性リーダーの育成や、地域活動等への参画に結び付くよう、内容、講師、開催日、時間帯などを検討し、一人でも多くの人が参加を希望する講座を開催する必要がある。</p>	A	2			

事業番号	事業名		28年度	29年度	年度	年度	年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
6	就労支援講座の開催	開催講座数(講座)	3	3	/	/	/	若者サポートステーションが事業内容を年度途中で精査したことにより、平成28年度は講座を協力して開催することができなかった。しかし、若者サポートステーションの取り組み内容や開催講座について、HP等で紹介・周知に努めた。	D	事業内容を精査したことにより、講座を協力して開催することができなかった。	産業振興課	
	若者サポートステーションと共催し、若者の就労支援のための講座を開催します。		0	/	/	/	/		3			

施策の内容(2)女性の社会参画に関する情報提供

事業番号	事業名		28年度	29年度	年度	年度	年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
7	男女共同参画に関する講座の情報提供	広報紙、ホームページ等での情報提供回数(回)	4	4	/	/	/	<p>男女共同参画推進の講座として、神奈川県、藤沢市及び茅ヶ崎市と連携した講座を開催した。</p> <p>①男女共同参画推進市町村連携講座 「男女がともに輝く未来へ～みんなで考えよう協働のまちづくり～」 日時：平成29年1月22日(日) 場所：寒川町民センター展示室1 参加者：35人(男性22人、女性13人) 講師：萩原なつ子さん(立教大学社会学部/大学院21世紀デザイン研究科教授)</p> <p>②2市1町(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)広域連携事業男女共同参画特別講演会 「介護は突然やってくる」 日時：平成28年10月15日(土) 場所：湘南NDビル6階6-1会議室(藤沢市) 参加者：79人(男性35人、女性44人) 講師：太田 差恵子さん(介護・暮らしジャーナリスト) 町以外で開催される講座の情報提供。</p> <p>③平成28年度防災講演会 「あなたはその時どう動く～母として、嫁として、職員として～」 日時：平成29年3月12日(日) 場所：寒川総合体育館多目的室 参加者：125人 講師：澤田裕美子さん(福島県大熊町健康介護課保健衛生係長) 武内一恵さん(福島県大熊町健康介護係長) ○2市1町広域連携事業3件 共に生きるフォーラムふじさわ2016「震災から自分の身を守る～高齢者・障がい者・子ども・女性などの視点から～」ほか</p> <p>講座等の情報を広く集めて提供するため、広報さむかわやSNSなどを活用した。情報量には限界があるため、どのような媒体が効果的か講座参加者に対しアンケート調査を行い、結果等を考慮し研究する必要がある。</p>	A	<p>広報紙やホームページ、SNS(Facebook、Twitter)等により町内外で開催される講座等の情報を提供することで意識改革の機会やスキルアップ等の支援をすることができた。</p>	協働文化推進課	
	町内外で開催される、資格取得やスキルアップのための講座について情報提供します。		5	/	/	/	/		2			

事業番号	事業名		28年度	29年度	年度	年度	年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
8	求人に関する情報提供		30	30				ハローワーク藤沢、鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市と合同で湘南合同就職面接会を開催した。 日時：平成29年2月2日(木) 13時～15時半 場所：藤沢商工会議所ミナパーク 町単独での面接会の実施は難しいため、ハローワークや近隣市と連携が必要。	A	ハローワーク藤沢、鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市と連携し湘南合同就職面接会を実施することができた。	産業振興課	
	役場ロビーに設置した端末機でのハローワークの求人情報を提供します。	湘南合同面接会で求人情報提供できた企業数(社)	30						2			
推進協議会評価		【基本目標Ⅰ あらゆる分野での男女共同参画の推進】 ○ ○ ○										

<基本目標Ⅱ 男女の人権の尊重と異性に対する暴力の根絶>

施策の基本的方向 1. 異性に対する暴力防止の対策

施策の内容 (1) 配偶者などからの暴力防止に関する意識啓発と被害者への支援

事業番号	事業名		28年度	29年度	年度	年度	年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
9	暴力防止に関する意識啓発		2	2				○引き続きホームページの掲載を行った。なお28年度における町ホームページ訪問数は(庁舎外)137件。 ○2市1町広域連携のなかでDV防止に向けた啓発チラシの作成を行い、寒川高校及び成人式にて配布した。 ○窓口や公共施設のトイレにチラシ等を置き、「DV気づき講座」や相談窓口の情報提供を行った。 今後も様々な機会を捉え、情報発信を行っていけるよう検討していく。	C	広報紙による啓発はかなわなかったが、今年度も引き続き、寒川高校や寒川町子育て支援センターに伺い、チラシ等の配架にもご協力いただくことができたため。	町民窓口課	
	広報紙等を通じてDVに関する情報発信を行い、暴力防止に関する意識啓発を行います。	広報紙、ホームページでの啓発回数(回)	1						1			
10	DV等に関する相談や関係機関との連携		12	12				○関係機関との会議(7月25日) ○関係機関との定期的な情報交換 11回 ○町で相談を受けた場合には、茅ヶ崎保健福祉事務所と連携しながら進めている。また茅ヶ崎保健福祉事務所で受けた相談であっても、各種手続きで来庁されるような場合は、連携を取り合っている。今後も適宜、情報共有できるよう努めていく。	A	茅ヶ崎保健福祉事務所と定期的に情報交換を行うことにより、スムーズな連携が行われているため。	町民窓口課	
	関係機関と連携しながらDV等に関する相談を受けるとともに、緊急一時保護事業に関する協定に基づき、DV被害者の緊急一時保護に向けた支援を行います。	関係機関との情報交換回数の回数(回)	12						1			

施策の内容（２）各種ハラスメント防止対策の推進

事業番号	事業名		28年度	29年度	年度	年度	年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
11	町役場における各種ハラスメント防止体制の充実		0	0	/	/	/	相談等に対応できる体制として、セクシュアル・ハラスメント苦情処理委員及び相談員を設置している。昨年度、今年度と相談はないが、相談しやすい環境づくりに努めていく。	A	目標値を達成しているため。	総務課	
	町職員間における各種ハラスメントの根絶に向けて、相談しやすい職場の雰囲気づくりや周知を行い、相談体制の充実を図ります。	相談と処分の件数（件）	0	/	/	/	/		2			
12	各種ハラスメント防止に関する啓発や各種相談窓口の情報提供		2	2	/	/	/	○引き続きホームページの掲載を行った。なお28年度における町ホームページ訪問数は（庁舎外）155件。 ○実際の相談はなかったが、相談があった場合に、より有意義な情報提供をどの様にしていくのかを検討していく。	C	ホームページへの掲載継続し、周知を図ったが、広報紙については掲載できなかったため。	町民窓口課	
	広報紙などを活用し、各種ハラスメント防止に関する啓発や関係機関における各種相談窓口の情報提供を行います。	広報紙、ホームページでの啓発回数（回）	1	/	/	/	/		2			

施策の基本的方向 2. 人権尊重のための対策

施策の内容（１）人権侵害に関する支援

事業番号	事業名		28年度	29年度	年度	年度	年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
13	各種相談の実施や人権に関する情報提供		4	4	/	/	/	○特設人権相談及び街頭啓発活動 6月（1ヶ所）・12月（2ヶ所）実施 ○産業まつりでの啓発活動 11月実施 啓発の効果を量ることは難しいが、現状実施しているもの以外の各種行事などにおいても意識啓発の場を設けるよう検討していく。	A	街頭啓発において、多くの町民に啓発物品と併せてリーフレットを配布し、意識啓発に努めた。	町民窓口課	
	人権相談など各種相談を実施し、関係機関との連携を図ります。また、人権に関する様々な情報提供を行うとともに、街頭での啓発活動などを通じて町民への意識啓発を行います。	街頭での人権啓発活動回数（回）	4	/	/	/	/		1			

施策の基本的方向 3. 生涯を通じた心身の健康づくりの充実
 施策の内容(1) 男女の心とからだの健康づくりへの支援

事業番号	事業名		28年度	29年度	年度	年度	年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
			実績	実績	実績	実績	実績					
14	健康増進事業		4	4				6/9、8/27、10/6、12/20、4回、219人 特定健康診査の対象となる40歳到達前から、自分の身体状況を把握し、生活改善のきっかけにしてもらうために実施している。検診結果から、受診者が生活改善をできているかを把握することができていない。	A	39歳までの人たちが格安で受診できる町の検診は他にない。パパママ健診は、皆子連れであるため、受診者から「周りを気にせず、気楽に受診できる」という声があり、好評である。	健康・スポーツ課	
		生活習慣病予防や健康維持・増進のための健診を実施し、町民の健康づくりを支援します。	成人健診(パパママ健診)の実施回数(回)	4					2			
15	健康普及事業		65	67				①チャレンジデー1回25,710人 ②各種健康講座24回900人 ③食生活講座16回958人 ④薬剤師会共催講座1回75人 ⑤歯科関連2回103人 ⑥体操の日18回1,145人 測定機器を借用して実施していた事業(骨密度測定、肺年齢測定等)は、機器の貸し出し元が貸し出し事業を廃止するとの情報があり、来年度以降いつまで借用できるか不明である。測定を含む事業の見直しが必要になる。	B	講座等の機会を利用し、性差による健康課題の普及啓発を行うことができた。単発のイベントや講座への参加をきっかけに、健康づくりや食育への意識が高まり、町事業への継続的な参加や自身の行動変容がみられた町民もいた。	健康・スポーツ課	
		地域の実情や町民のライフステージに合わせた健康づくりを支援するため、町民が自主的に健康づくりや食育に取り組むための機会の場を提供し町民一人ひとりの「自分の健康は自分で守る」という意識の促進を図ります。	健康づくりや食育をテーマとする講座の年間回数(回)	61					3			
16	公民館講座(健康づくり講座)の開催		4	4				(町民センター)ゆるやか健康体操 6/20・27の2回開催 第1回募集20人 参加27人(男1・女26)参加率135% 第2回募集20人 参加24人(男1・女23)参加率120% (南部)自分でできる簡単マッサージ講座(2回) 11/5・11/26 定員10名 参加者10名 (男性2名・女性8名) 満足度100% 男性を講師として招き開催した。今後も継続していく予定なので、男性の参加を増やすよう努力していく。	A	「ゆるやか健康体操」は日常生活で使わない筋肉をゆるやかに動かし、体感をゆるやかに鍛える体操で、昨年に続き、募集人数を超える参加者となり、関心の高さがうかがえ、継続とし、「自分でできる簡単マッサージ講座」は、男性の参加を増やすことを課題としながらも、参加率100%で関心がある事業となっているので、ともに継続とした。	公民館	
		公民館講座を通じて健康に対する意識付けを図るなど、町民の健康づくりを支援します。	講座の開催回数(回)	4					2			

施策の内容（２）性に関する正しい知識と普及啓発

事業番号	事業名		28年度	29年度	年度	年度	年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
17	健康教育事業	小冊子の配布回数(回)	1	1	/	/	/	1月の成人式で新成人に配布 日常生活の中で「健康増進」「がん検診」などを考える機会が少ないと思われる新成人に対して、それらを意識するきっかけ作りとなるように、冊子の内容を、男女ともにかかわる項目にしている。 課題は、その後の新成人の行動を町で把握する機会を作るまでに至っていないこと。	A	冊子を配布できた。	健康・スポーツ課	
	新成人等へのパンフレットの配布による健康教育を実施します。		1	/	/	/	2					
18	「生きる力」の育成事業	性教育実施時間数(時間)	10	10	/	/	/	学習指導要領に基づき、小・中学校の各学年における教科、道徳、総合的な学習の時間等を通して、実態に即した適切な性教育が推進された。 一例として、小学校では理科の授業にて「生命の誕生」を学ぶ。中学校では、家庭科で「保育」について男女で共修する。中学校の保健体育、技術・家庭科の授業は男女共修で行われている。 今後も社会的な側面での人間尊重・男女平等の観点に基づき、教育活動全体を通して、児童生徒の発達段階をふまえた性教育および様々な性に関する現代的課題(性同一性問題など)にも取り組む必要である。	A	児童生徒の健やかな心身の育成は、確かな学力、豊かな心とともに、大切な「生きる力」の一つである。学校では、学習指導要領に基づき、保健体育の授業等における「性教育」のみならず、あらゆる場面での生命に関する教育が展開された。	学校教育課	
	教科や道徳の時間、総合的な学習の時間等を通して、性教育を推進します。		10	/	/	/	2					
推進協議会評価		【基本目標Ⅱ 男女の人権の尊重と異性に対する暴力の根絶】 ○ ○ ○										

＜基本目標Ⅲ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）推進のための環境づくり＞

施策の基本的方向 1. 就業環境における男女共同参画の促進
 施策の内容（１）男女平等な雇用の促進

事業番号	事業名		28年度	29年度	年度	年度	年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
19	勤労者実態調査の実施（再掲）	調査票の回収率(%)	/	50	/	/	/	次回平成29年度実施予定		3年ごとに実施している調査であり、平成28年度は未実施。次回は平成29年度に実施予定。	産業振興課	
	町内事業所に勤務する労働者の実態を明らかにし、労働行政の基礎資料とすることを目的に3年毎に実施します。その結果を事業所に知らせることにより、男女平等雇用の意識を喚起します。		/	/	/	/	2					

施策の内容（２）女性の就業・雇用環境改善のための支援の充実

事業番号	事業名		28年度	29年度	年度	年度	年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
20	労働相談に関する情報提供							<p>・町のHPに県の相談窓口のリンクを貼り周知を図るとともに、メール等でも配信した。また平成28年度、町民窓口課の協力のもと町民相談の内容に労働問題を追加した。</p>	A	インターネットを活用することで、柔軟かつ効率的に情報提供をすることができた。	産業振興課	
	<p>広報紙やホームページ等で労働相談窓口などの情報提供を行うとともに、相談内容に応じた関係機関を紹介するなど、労働相談に関する情報提供を行います。ハローワーク藤沢管内の3市1町で実施する湘南就職面接会時において、労働者向けに労働に関する相談会を実施します。</p>	広報紙、ホームページでの提供回数(回)	3	3					2			
21	労働講座の開催							<p>平成28年10月27日(木)18時半～20時 町民センター視聴覚室で労政問題懇話会との共催で労働講座を開催した。 参加者44名(男41名、女3名) 「契約トラブル未然防止について」</p>	A	労政問題懇話会と連携し労働講座を開催することができた。	産業振興課	
	<p>労政問題懇話会及び県との共催により、労働環境に関する講座を実施します。</p>	開催回数(回)	1	1					2			

施策の内容（3）育児・介護に関する制度の周知と普及の促進

事業番号	事業名		28年度	29年度	年度	年度	年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
			実績	実績	実績	実績	実績					
22	育児休業取得の促進		100	100				女性職員の取得率に比べれば男性職員の取得率は低いが、以前に比べ取得率は増えている。職員間での意識が変わりつつあるが、引き続き意識を高める必要がある。	C	男性職員の取得率が3割であることから、取得率は増えてきているため。	総務課	
	町職員が男女ともに育児休業を取得しやすい環境を整備し、子育ての支援を図ります。	男性職員の育児休業取得率(%)	33						1			
23	ワーク・ライフ・バランスに関する企業への啓発		3	3				国や県から提供された情報をメールで町内事業所へ配信した。	A	インターネットを活用することで、柔軟かつ効率的に情報提供することができた。	産業振興課	
	国や県からチラシやパンフレットを町内事業所に配布し、制度の周知や普及の促進を図ります。	企業への啓発回数(回)	3						2			

施策の基本的方向 2. 仕事と家庭・地域活動との両立の支援
 施策の内容(1) 子育て・ひとり親家庭への支援

事業番号	事業名		28年度	29年度	年度	年度	年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
			実績	実績	実績	実績	実績					
24	保育環境充実事業		100	100				認可保育所に通常保育事業の実施を委託し、併せて事業に対する助成を行った。 平成29年3月現在定員 630人 利用者数 686人	A	保育の必要性のある児童を認可保育所において保育することで、保護者の就労を支援した。	保育・青少年課 (子ども青少年課)	
	認可保育所や認可外保育施設、私立幼稚園に給付費や補助金を支出することにより、保育所の設備及び運営基準の維持、事業の充実や児童の処遇改善、保育サービスの供給増加等を図ります。		109						2			
25	子育て支援相談事業		100	100				相談日:月から金 9:00~16:00 相談件数411件 課題等:育児不安を抱える家庭は、増加の傾向にあり、相談内容も多岐に渡り複雑化・長期化の傾向がある。H28年度より、相談員2名体制で取り組み前年比130%となった。	A	他機関との連携を含む継続フォローや指導等、悩みを抱える子育て家庭への負担軽減を図った。	子育て支援課 (子ども青少年課)	
	子育て全般についての相談指導と育児情報の提供を行います。		100						2			
26	児童クラブ運営事業		200	220				開所日293日 自宅で保育を受けることができない児童を受け入れることにより、保護者の就労や女性の社会進出を支援する。各児童クラブの運営負担を軽減するためNPO法人寒川学童保育会に一括して運営委託を行った。	A	保護者の就労や女性の社会進出により、子どもが安心して放課後を過ごせるよう、今後も同事業を継続していく。	保育・青少年課 (子ども青少年課)	
	保護者が労働等により放課後昼間家庭にいない児童に、放課後の適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全な育成を推進します。		222						1			

事業番号	事業名		28年度	29年度	年度	年度	年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
27	ひとり親家庭等医療費助成事業		800	800				ひとり親家庭等医療費助成事業の該当者に対し、周知及び助成を実施した。	B	申請主義であるため未申請者はいるが、全ての対象者に対して周知を実施した。	子育て支援課(子ども青少年課)	
	ひとり親家庭等の人 が病院等を受診したとき に支払う医療費のうち、 保険診療分の自己負担額を 助成します(所得制限有り)。 助成対象者数(人)		755						2			

施策の内容(2) 男性の家事・育児・介護などへの参加の促進

事業番号	事業名		28年度	29年度	年度	年度	年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
28	父親・母親教室の開催		100	100				4日間1コースを年間5回実施し、延べ妊婦180人 夫74人参加。毎コースの4日目の日曜日は、約83%が妊婦とパートナー2人での参加となっている。天候不良(雪)による中止があり、参加者は昨年より減少した。	B	参加者延べ人数に占める、夫(パートナー)の割合は、H27年度24.5%、H28年29.1%で、男女での育児参加は、徐々にひろがっている。	子育て支援課(健康・スポーツ課)	
	初妊婦とそのパートナーを対象にした、妊娠・出産・育児や家庭づくり等についての講座の開催を通じて、男女が協力して家事や育児を行うことについて意識啓発を図ります。		95						2			
29	母子訪問指導事業		1,000	1,000				継続的な訪問が必要なケースの増加により、訪問件数は、目標数を上回った。	A	母子健康手帳交付時のイクメンテキスト配布や訪問による個別支援で、男性への意識啓発が実施できた。	子育て支援課(健康・スポーツ課)	
	乳幼児を育てている家庭を訪問し、育児状況の確認や子どもと養育者の心身の健康づくりへの助言等と併せて、男性の育児参加への意識啓発を行います。		1,443						2			
30	介護教室の開催		30	30				○家族介護教室 開催日(回数): H28.11/1・8・15 H29.2/7・14・21(全て火曜日)(6回) 参加人数:21人(男性10人) 参加対象者の中には家族のなかに要介護者を抱え参加したくとも参加出来ないという声も聞かれた。今後は、周知方法について、チラシ等の配布にとどまらず、包括支援センター等の職員にも声かけをお願いし、参加者数の増を図る必要がある。	C	目標値に対し70%の実績となった。目標値に少しでも近づけるためには、延べ参加者はもちろんではあるが、実人数を増やすことが必要で、実人数が増えることにより、一人でも多くの方が、介護技術・対応方法を習得することになる。	高齢介護課	
	介護技術・対応方法を習得するための講習会の開催を通じて、男女がともに介護を担うことの意識啓発を図ります。		21						3			

事業番号	事業名		28年度	29年度	年度	年度	年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
31	公民館講座（男性向け講座）の開催	講座の開催回数（回）	1	1				(北部公民館)メンズクッキング教室(11月 1回 15人) (南部公民館)リトミック教室(2回) 10/14・10/21 定員40組 参加者25組 1歳6ヶ月までと1歳6ヶ月以上にクラスを分け、各クラス20組募集した。 満足度100% 平日に行ったことにより父親の参加がなかった。他の講座等と調整し、週末に開催できるよう検討する必要がある。	A	目標値達成のため	公民館	
	公民館講座を通じて、男性の家事・育児・介護への参加に対する意識付けを促進します。		2				2					

施策の内容（3）地域活動への参加の促進

事業番号	事業名		28年度	29年度	年度	年度	年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
32	ファミリーサポートセンター事業	活動件数（件）	1,700	1,700				お願い会員701人、まかせて会員187人、どちらも会員146人 課題等：依頼会員に比べ提供会員が少ない。事業開始から10年以上が経過し、おねがい会員からどちらもやまかせて会員に登録していただける会員も多くなっていることから、更に事業の必要性を啓発していく必要がある。	A	子育て家庭に対する経済的負担の軽減と保育ニーズの分散化を狙いとした町一部負担を導入し2年目となったが、活動件数は、前年比113%となった。子育て家庭は、若年層が多く経済的にも不安を抱えた家庭も多い。利用件数から見てもこの事業を必要とする家庭にとっては効果的だったと考えられる。	子育て支援課（子ども青少年課）	
	育児の援助を受けたい人を行う人が会員となって一時預かり等の事業を行うことにより、育児世代の地域活動への参加を支援します。		2,153				2					
33	生涯学習に関する情報提供	広報紙、ホームページ、パンフレットでの啓発回数（回）	6	6				男女を問わず、生涯学習に関する情報を提供した。 1.さむかわ町民大学 2.出前講座 3.4.生涯学習人材登録制度「ステップアップ」メニュー紹介用/登録者募集用 5.さむかわ生涯学習総合案内 6.広報さむかわ8月号特集ページに掲載 ○町ホームページの関連ページ訪問数は446件。	A	「さむかわ生涯学習総合案内」を町内の各施設に配下し、広く生涯学習に関する情報提供を行った。紙媒体は文字数等情報量に制限があるため、ホームページ、Twitter、メール配信サービスを活用し情報量の充実をしていく。	協働文化推進課	
	さむかわ町民大学、出前講座、生涯学習人材登録等の学習情報を提供し、地域活動への参加を支援します。		6				2					

推進協議会評価	【基本目標Ⅲ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）推進のための環境づくり】 <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
---------	---

<基本目標Ⅳ 男女共同参画社会促進のための意識づくり>

施策の基本的方向 1. さまざまな場における意識づくりの推進
 施策の内容(1) 職場や地域における意識啓発

事業番号	事業名		28年度	29年度	年度	年度	年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
34	男女共同参画に関する講座の開催	講座の参加人数(人)	80	80				<p>男女共同参画推進の講座として、神奈川県、藤沢市及び茅ヶ崎市と連携した講座を開催した。</p> <p>①男女共同参画推進市町村連携講座 「男女がともに輝く未来へ～みんなで考えよう協働のまちづくり～」 日時:平成29年1月22日(日) 場所:寒川町民センター展示室1 参加者:35人(男性22人、女性13人) 講師:萩原なつ子さん(立教大学社会学部/大学院21世紀デザイン研究科教授) 内容:地域における男女共同参画について理解を深め、協働で地域の課題を解決するためには女性の能力活用、参画促進が重要でそのためには男女とも意識改革が必要不可欠であることを学ぶことを目的に実施。5人×7組のグループ分けを行い、冒頭に9マス自己紹介を行い、男女共同参画基本法が市町村の計画のベースになっていることや、新しい協働、歴史的背景など替え歌を交え、わかりやすく講演いただいた。後半は、ワールドカフェ方式でテーマ「寒川町でみんながいいき暮らししていくにはどうしたらいいか」についてアイデアを出し合い、グループごとに発表をした。</p> <p>②2市1町(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)広域連携事業男女共同参画特別講演会 「介護は突然やってくる」 日時:平成28年10月15日(土) 場所:湘南NDビル6階6-1会議室(藤沢市) 参加者:79人(男性35人、女性44人) 講師:太田 差恵子(介護・暮らしジャーナリスト) 内容:講師の20年以上の取材活動やNPO法人での経験からもしも親が「突然」倒れたら介護と自分の仕事をどのように両立していけばよいかについて、具体的な実践的な手法をお話いただいた。</p> <p>事業所に絞った講座ではなかったが、男女共同参画やワーク・ライフ・バランスについてできることから少しずつ取り組むことを考える機会となった。職場や地域における男女共同参画への意識啓発につながる講座を開催する必要がある。</p>	A	<p>①男性の参加者数が女性を上回り、参加者数についても目標値を上回った。ワールドカフェ方式のグループワークでは、性別や年代の垣根を越えた話し合いができたことで満足度の高い講座となった。</p> <p>②参加者も40-50代の有業者の男女が多く、ワーク・ライフ・バランスを進めていくコツを得る機会を提供できた。</p>	協働文化推進課	
	事業所向けまたは生活に密着した視点から男女共同参画に関する講座を開催し、職場や地域における男女共同参画への意識啓発を図ります。		114						2			

事業番号	事業名		28年度	29年度	年度	年度	年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
			実績	実績	実績	実績	実績					
35	人権教育推進事業		1	1	/	/	/	男女を問わず、よりよい人間関係づくり、日常生活における人権尊重について考える機会を提供した。 「アサーティブコミュニケーション講座」 ・9/10(土) 18名(男性1名・女性17名)	A	目標値を達成した。 男女共同参画の意識を含め、人を思いやる心、悩みを相談できる環境、よりよい人間関係づくりといった日常生活において人権への配慮がその態度、行動に現れるような人権感覚が身につくよう、人権に関わることが常に身近にあることに気づき、考える機会を提供できた。	教育総務課	
	人権教育講演会等の講座、講演会を開催して、男女共同参画の意識啓発など社会教育の機会を提供します。		1	/	/	/	/		2			

施策の内容(2) 家庭における意識啓発

事業番号	事業名		28年度	29年度	年度	年度	年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
			実績	実績	実績	実績	実績					
36	父親・母親教室の開催(再掲)		100	100	/	/	/	4日間1コースを年間5回実施し、延べ妊婦180人 夫74人参加。毎コースの4日目の日曜日は、約83%が妊婦とパートナー2人での参加となっている。 天候不良(雪)による中止があり、参加者は昨年より減少した。	B	参加者延べ人数に占める、夫(パートナー)の割合は、H27年度24.5%、H28年29.1%で、男女での育児参加は、徐々にひろがっている。	子育て支援課(健康・スポーツ課)	
	初妊婦とそのパートナーを対象にした、妊娠・出産・育児や家庭づくり等についての講座の開催を通じて、男女がお互いを理解し尊重することについて意識啓発を図ります。		95	/	/	/	/		2			
37	家庭教育講座等開催事業		1	1	/	/	/	「ママパパのための絵本講座」 ・12/10(土)「わらべうたベビーマッサージと絵本でふれあい遊び」 16家族(38名) (大人:22名(男性6名・女性16名) / 子ども:16名(男性9名・女性7名)) ・12/17(土)「絵本で子育て講演会」 11名(男性2名・女性9名) 「パパママいっしょにニコニコ子育てライフ」 ・1/29(日) 7家族(22名) (大人:14名(男性7名・女性7名) / 子ども:8名(男性1名・女性7名))	A	目標値を達成した。 母親だけでなく、父親の参加も狙い、土日開催としたため、夫婦で参加した家族もあり、男性の育児参加についても啓発することができた。また、1回については、父親ならではの育児や夫婦のパートナーシップをテーマに開催し、男女共同参画の意識啓発を含め、父親の育児参加を促す機会を提供できた。	教育総務課	
	家庭教育講演会等の講座、講演会を開催して、男女共同参画の意識啓発など社会教育の機会を提供します。		3	/	/	/	/		2			

事業番号	事業名		28年度	29年度	年度	年度	年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
			実績	実績	実績	実績	実績					
38	公民館事業（家庭教育講座）の開催		2	2				<p>(南部公民館)リトミック教室(2回) 10/14・10/21 定員40組 参加者25組 1歳6ヶ月までと1歳6ヶ月以上にクラスを分け、各クラス20組募集した。 満足度100%</p> <p>平日に行ったことにより父親の参加がなかった。他の講座等と調整し、週末に開催できるよう検討する必要がある。</p>	A	定員には満たなかったが、年齢でクラス分けをしたことにより、より年齢にあった講座となり、参加した親からの評判も良かった。	公民館	
	公民館講座を通じて、男女共同参画の意識づくりを図ります。		2						1			
39	図書資料の充実		1	1			<p>平成28年度の家庭教育関係資料の購入点数は108点、購入金額は、約15万9千円でした。様々な分野から家庭教育に関する資料を収集し、当初の計画より多くの点数を提供する事ができた。</p> <p>今後も、いかに利用者の要求を的確に把握し、資料収集を行い、提供していくかが課題である。</p>	A	様々な視点から家庭教育関係の資料を収集し提供することができた。 金額、点数も当初の目標を大幅に上回る事ができたため。	寒川総合図書館		
	男女共同参画に向けた、家庭教育関係の資料の充実を図ります。		3									2

施策の内容（3）学校等における意識啓発

事業番号	事業名		28年度	29年度	年度	年度	年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課	推進協議会の事業別意見
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性			
40	教職員の資質向上事業		240	240				<p>教職員研修会(5/30、7/26、8/30、2/8、全4回 253名)および教育講演会(11/17 39名)もに於いて、人権感覚を磨き、人権や男女共同参画に配慮した授業づくりや教育課題の解決力の向上などを行い、意識を高めた。</p> <p>特に教育講演会の「LGBTってなに？」や第4回教職員研修会「通常学級におけるインクルーシブ教育」では、人権に配慮した社会、教育について理解を深め、男女共同参画社会を推進する意識の啓発ができた。</p> <p>・研修会、教育講演会男女参加比 137:155</p>	A	<p>本年度も、大変充実した研修会や講演会を開催することができた。「人権教育やインクルーシブ教育」そして男女共協同参画の観点から今後も継続して研修を行っていく必要がある。</p>	学校教育課	
	教職員向け講演会や研修会等を開催し、児童・生徒への人権教育の充実を図ります。	研修会等への参加者数(人)	292						2			
41	中学生人権作文コンテストの実施		150	150				<p>○教頭会での話しかけを継続したことにより、応募者が目標値を上回った。</p> <p>人権擁護委員会の事業であるが、若年期から人権意識を身に付けることは重要であり、事務局として協力しながら、引き続き多数の参加が図られるような方法を検討していく。</p>	A	<p>参加者の募集は町立中学校等に対して行っているが、夏休み期間に多くの課題の中から選択することになり、生徒の希望や学校の取り組み方に依存せざるを得ず、応募者数が少ない状況であったが、教頭会での話しかけが功を奏し、応募者数が目標値を上回ったため。</p>	町民窓口課	
	関係機関と連携して人権作文コンテストを実施し、人権に対する生徒の意識啓発を図ります。	作文の応募者数(人)	202						1			
推進協議会評価		<p>【基本目標Ⅳ 男女共同参画社会促進のための意識づくり】</p> <p>○ ○ ○</p>										